

————— MW-11000S —————

## ろ材交換説明書

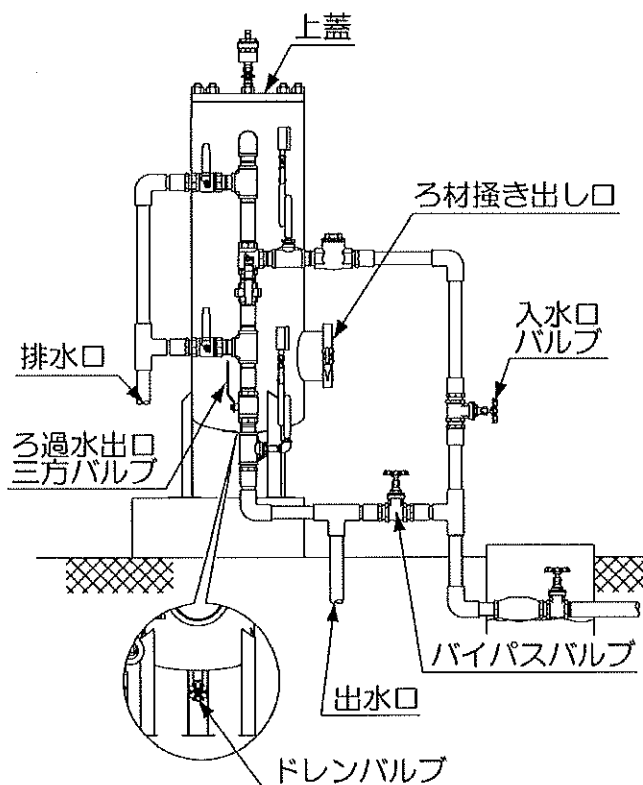
製造元 株式会社 A C M

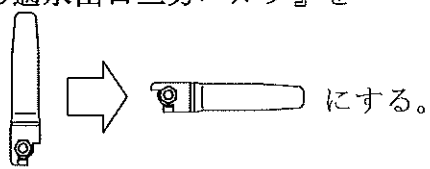
# MW-11000Sろ材交換方法

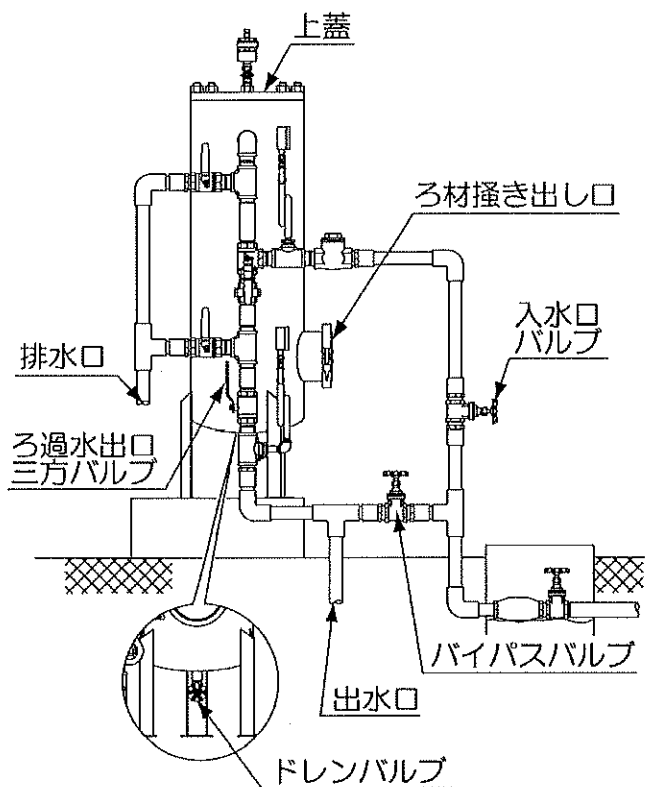
## 1. ろ材交換に必要なもの

- ・モンキースパナ（36mm以上のもの）2本
- ・70cm程度の棒1本
- ・小さなコップ1個
- ・⊖ドライバー1本
- ・布テープ1個

## 2. ろ材を出す



1. 『バイパスバルブ』を開ける。
2. 『入水口バルブ』を閉める。
3. 『ろ過水出口三方バルブ』を  
にする。
4. 機械底部の『ドレンバルブ』から、胴内の水抜きをする。
5. 水の抜けたことを確認の上、『ろ材掻き出し口』を開ける。
6. 『上蓋』を開ける。
7. ろ材掻き出し口より濾材を掻き出す。



8. ある程度ろ材が掻き出し終わったら、『入水口バルブ』を少し開き、上部より水を入れて胴内のろ材をきれいに洗い流す。

注) この時、胴内底部にろ材が少しでも残った場合、室内にろ材が流れ込むので必ずきれいに洗い流してください。

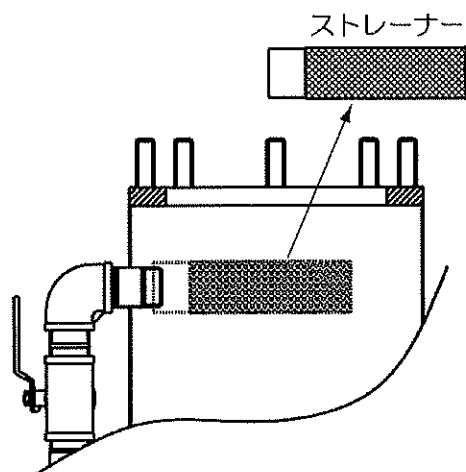
9. 胴内がきれいになったことを確認した上で、『入水口バルブ』を閉じ、胴内の水が残らないように流す。
10. 胴内に水がなくなったことを確認して『ドレンバルブ』を閉める。

11. 胴内底部の網底を水平にし、『ろ材掻き出し口』の“蓋”と“パッキン”をきれいに洗い、閉じる。

注) この時、オーリングがはみ出さないように蓋をセットし、バンドを締めてください。

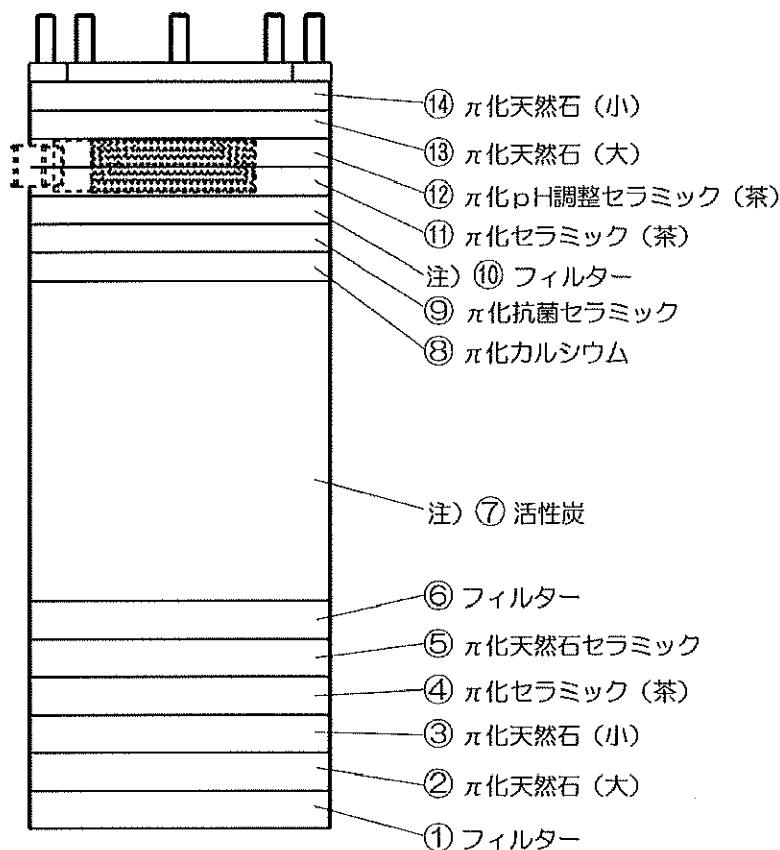
12. ろ材詰め作業に移ってください。

### 3. ろ材詰め



1. 『ストレーナー』を外し（ネジ式）、布テープで胴内のネジ込み穴をふさぐ。

### ろ材の順番



### 2. 次の点に注意し、ろ材を順番通りに入れる。

- 各ろ材とも平らにならしてから、次のろ材を入れてください。
- 活性炭を入れた後、棒でつつき、活性炭層を少し沈ませてから次のろ材を入れてください。これを行わないと上部のろ材が入らないことがあります。
- ⑩のフィルターを入れた後、ストレーナー穴の布テープを剥がし、ストレーナーを装着してください。
- ⑭の小粒のπ化天然石は全て入れなくても構いません。⑬の大粒π化天然石の隙間を埋める程度に入れてください。この時、⊖ドライバーを使い、胴内上部の端に埋め込むようにすると良いです。

### 3. 蓋を閉める。

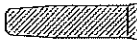
パッキン (黒) を洗い、円平に付いたろ材の粒をきれいに取り除いた上で、パッキンを装着する (ろ材の粒が残っていた場合、パッキンの隙間からの水漏れの原因となります)。その後、蓋を乗せネジを対角線状に締める。

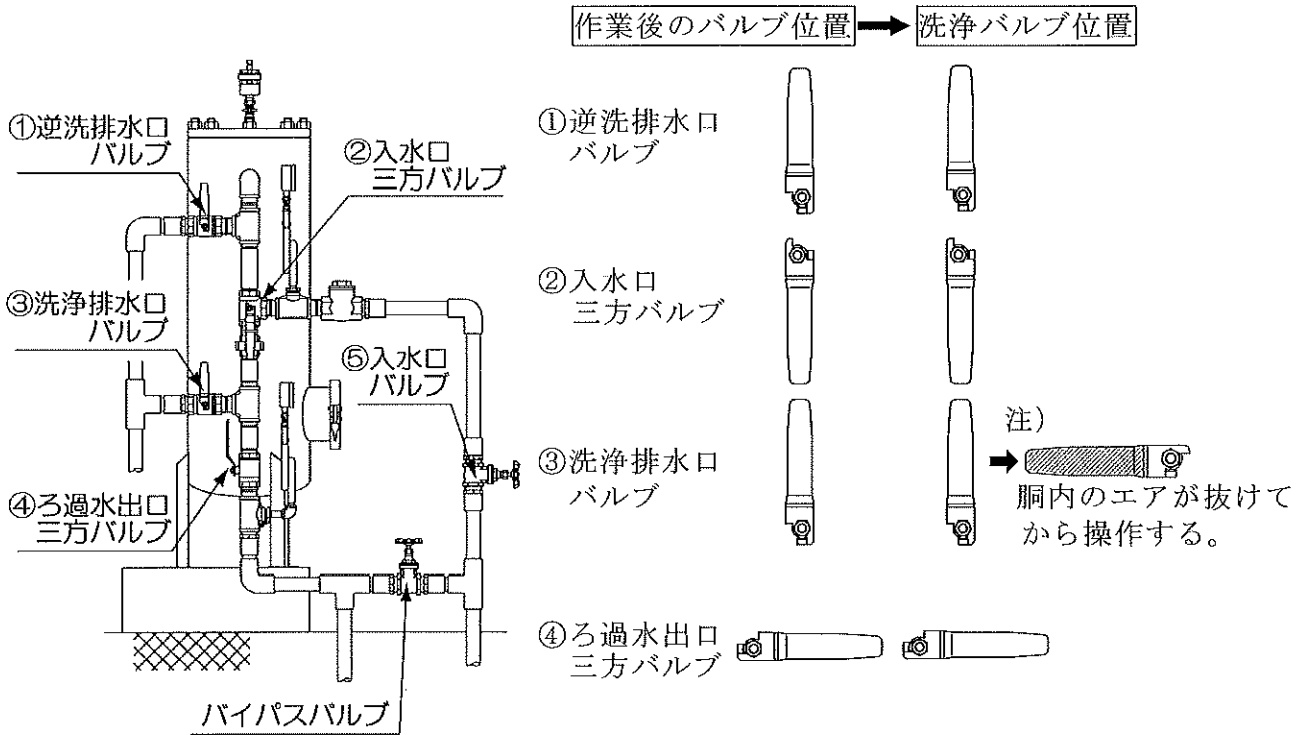
### 4. ネジを締め終わったら、洗浄運転を行う。

## 4. 洗浄運転

次の順序で行ってください。


- ⑤の入水口バルブを開ける。
- 下記のバルブ操作を行う。

洗浄運転の際は  のレバーのみ操作すればOKです。



注) 洗浄の際、給水するといったん上部エア抜きからエアが抜けます（この時の③の洗浄排水口バルブ位置は作業後のバルブ位置です）。エアの抜ける音が止まってから1～2分お待ちください。

その後、③の洗浄排水口バルブを  にし、胴内の溜まりエアを抜き（5分程度流す）、再び③の洗浄排水口バルブを作業後のバルブ位置に戻してください。

そのあと、5分程待ち、③の洗浄排水口バルブを再び  にして洗浄を行ってください（これは胴内最上部まで水を溜めるためです。これを行わない場合、内部の汚れが完全に取れません）。

この作業を3回行ってください。

- ④のろ過水出口三方バルブのレバーを縦にする。
- バイパスバルブを閉める。

## 5. 水の検査方法 (残留塩素測定試薬 使用)

これは浄水された水が正常であることを確認する検査です。



残留塩素測定試薬

### 確認方法

- ① コップに浄水後の水（約50cc）を取ります。
- ② 残留塩素測定試薬を1袋加えます。
- ③ かき混ぜて、無色透明であることを確認してください。  
(判定は1分以内で行ってください。)

残留塩素測定試薬は、水道水の中に含まれている残留塩素の有無を測定する試薬です。塩素が残留していると試薬はピンクに変色します。

**但し、1分以上おくと残留塩素がない状態でも変色しますので、ご注意ください。**



### ご注意

- ご使用後のコップ等は、よく洗ってからご使用ください。
- 残留塩素測定試薬及び残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないようご注意ください。
- 手などに触れた場合、石鹼でよく洗ってください。
- 万が一、目や口に入った場合は、よく洗い流した後、医師に相談してください。
- 幼児の手の届かない場所に保管してください。

ご不明な点がございましたら下記にご連絡下さい。

---

製造元

株式会社 **エイ・シー・エム**

〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10

TEL 03-3634-7373

FAX 03-3634-7384